

学校教育目標

自立と貢献

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに、児童の健全な教養を育成することを目的とする。

今年度配置の学校図書館司書と共に図書館の整備を進め、調べ学習等図書館を利用する機会を増やし、読書好きを増やしていく。

学校図書館の目標

学校図書館を活用し、主体的・意欲的に学ぶ児童の育成

ねらい

- ①読書意欲を高め、豊かな心を育てるとともに、読書の習慣化を図る。
- ②図書館活用の望ましい態度や技術を身に付け、思考力・判断力・表現力を育む。
- ③図書館情報を活用し、自らの課題や疑問を追及解決していく能力を育てる。

指導の重点

- ①教育課程全体を通して、計画的な読書活動と学校図書館の活用を推奨する。
- ②学校図書館を活用した教科等の学習充実と情報活用能力の育成を図る。
- ③読書環境の充実を一層はかり、読書に対する意欲や関心を高める指導の工夫を図る。

各学年の重点目標

第一学年	<ul style="list-style-type: none"> ・本の世界のおもしろさを知り、楽しんで読書に取り組む。 ・学校図書館の利用の仕方や技能を身に付ける。 	第二学年	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な種類の本に興味をもち、読書の幅を広げる。 ・すすんで図書館を利用して調べようとする。 	第五学年	<ul style="list-style-type: none"> ・読書を通して知識を増やし、心情を豊かにする。 ・目的に応じて図書館を利用し、適切な資料を見つける。
第二学年	<ul style="list-style-type: none"> ・想像を広げながら、すすんで読書に取り組む。 ・知りたいことがらを本の中に見付ける。 	第四学年	<ul style="list-style-type: none"> ・読書の幅を広げ、すすんで読み、読書量を増やす。 ・課題について適切な資料を見つけ、調べる。 	第六学年	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な本を選んで読書をし、本の世界に親しむ。 ・学び方を身に付け、課題解決能力を高めるとともに、表現する。

具体的な取り組み

〔各教科〕

図書館機能を活用し、課題解決学習、調べ学習を行い、情報活用能力を養う。

〔読書科〕

読書を通じた探究的な学習を通して、資質能力を育成する。

〔総合的な学習の時間〕

課題の解決や、探究的な学習に主体的に取り組む態度を育てるとともに、表現力を養う。

〔特別活動〕

図書委員会を中心に、自発的・自治的に図書館を運営し、読書活動の推進を展開する。

〔特別の教科 道徳〕

図書資料を通して、いろいろな生き方や考え方にふれ、自分を深め、道徳的心情を養う。

〔家庭・地域との連携〕

図書ボランティアや保護者による読み聞かせボランティアと連携し、読書活動の充実を図る。

30分読書の活用・推進

推進組織の確立・充実

図書環境の整備・充実

